

# ジェネリック医薬品を上手に活用しましょう

市は、被保険者の負担軽減と増加傾向にある医療費の節減のため、ジェネリック医薬品の使用をお勧めしています。今回は、ジェネリック医薬品を安心してご利用いただくために、厚生労働省のホームページに掲載されているQ&Aから一部をご紹介します。

**Q** ジェネリック医薬品って何ですか

**A** 先発医薬品と同等の有効成分・効能を持つと認められたお薬です

先発医薬品の特許が切れた後に、厚生労働大臣の承認の下に新たに他社から製造販売されるため、「後発医薬品」ともいわれます。

**● 開発コストが安い**

新薬（先発医薬品）の開発には、9〜17年程度の長い期間と数百億円もの投資が必要といわれており、研究開発にかかるコストが薬の価格にも反映されています。一方、ジェネリック医薬品の場合、有効性や安全性がすでに確認されている先発医薬品の

有効成分を利用するため、開発期間や経費を大幅に抑えることができます。

**Q** ジェネリック医薬品にすると、どんなメリットがありますか

**A** 患者の薬代の負担が減ります

ジェネリック医薬品に変更することで、先発医薬品と同等の有効成分・効能を維持したまま、薬にかかる自己負担額を減らすことができます。また、少子高齢化が進むにつれて増大し続ける医療費財政を節減し、世界に誇るべき国民皆保険制度を持続させることにもつながります。

**● 薬代が先発医薬品よりも3割以上安い**

ジェネリック医薬品の種類によって患者が窓口で負担する薬代は違ってきますが、先発医薬品よりも3割から5割程度安くなる場合が多いようです。

**Q** ジェネリック医薬品の効果や安全性は大丈夫ですか

**A** さまざまな試験を行い、効き目や安全性が確認されています

現在、製造販売されているジェネリック医薬品は、国の厳格な審査を受け、先発医薬品と効き目や安全性が同等であると承認されたものです。

また、先発医薬品と同じ薬事法の品質基準に基づいて製造されています。

**Q** ジェネリック医薬品を使いたいのですが

**A** かかりつけの医師や薬剤師に相談しましょう

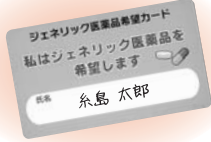
医師による処方せんに、ジェネリック医薬品の名称が記載されていれば、薬局で調剤してもらうことができます。

また、処方せんに記載されているのが先発医薬品の名称であっても、「後発医薬品への変更不可」というチェック欄に医師のサインがなければ、

れば、薬剤師と相談して、患者自身がジェネリック医薬品を選ぶことができます。※すべての先発医薬品に対してジェネリック医薬品が製造販売されているわけではないため、ジェネリック医薬品への変更を希望しても、変更できない場合があります。

**● ジェネリック医薬品希望カードを提示しましょう**

病院や診療所を受診したときに、受付で診察券と一緒に「ジェネリック医薬品



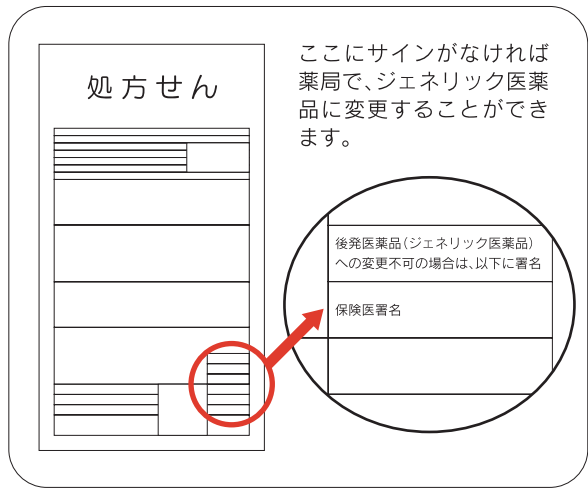
希望カード」を提示するとよいでしょう。また、調剤薬局では、処方せんと一緒に薬剤師に渡しましょう。

**● ジェネリック医薬品の普及は国を挙げて取り組まれています**

厚生労働省では、「平成24年度までに、後発医薬品の数量シェアを30%（現状の2倍）以上にする」という目標を掲げ、取り組んでいます。

http://www.mhlw.go.jp/bun/nyai/ryou/kouhatu-iyaku/

**問い合わせ先**  
糸島市国保年金課  
☎(0323)11111



## ジェネリック普及促進通知を始めます

**対象**  
薬局からもらっているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、お薬代が一定額以上軽減されることが見込まれる人

**お知らせ内容**  
ジェネリック医薬品に切り替えた場合の軽減可能な割合など

**通知開始時期**  
平成24年1月（予定）  
※現在、福岡県国保連合会で準備中

健康づくり  
～血管を守ろう⑱～



### 健診は健康づくりの第一歩

**● 尿酸は体の中の老廃物**

体は、約60兆個の細胞でつくられ、常に新陳代謝を繰り返しています。この過程で「尿酸」という老廃物が産生されます。尿酸は、主に尿や便に混じって体外に排泄され、量が一定に保たれています。

**● 痛風発作**

血液中の尿酸値が高く



尿酸塩の結晶（針状結晶）

**● 全身に見られる合併症**

痛風の痛みは、数日から数週間で治まりますが、尿酸値が高い状態を放置していると、さまざまな合併症を引き起こしてしまいます。

**● 尿酸値の上昇を予防**

尿酸値を適正な値に保つため、次のことに心がけましょう。尿酸の過剰産生を抑え、排泄を促すことがポイントです。

- ① 肥満を解消する。
- ② 軽い運動を心がける。
- ③ 水分補給で尿量を増やす。
- ④ アルコールを飲み過ぎない。
- ⑤ 海藻や野菜をたっぷり摂る。

※心臓病がある人や腎機能が低下している人は、注意が必要です。主治医に相談しましょう。

**● 特定健診で尿酸値がわかります**

尿酸血の正常値は、7.0mg/dl以下です。糸島市の特定健診では、市独自の項目として尿酸値の測定が含まれています。特定健診であなたの尿酸値をチェックしてみましょう。

特定健診は、現在、先着順に申し込みを受け付けています。まだ申し込みしていない人は、お早めにお申し込みください。

**申し込み・問い合わせ先**  
糸島市健康づくり課  
☎(0322)20609

